



復興庁 同時発表

令和2年2月28日
観光庁
日本政府観光局(JNTO)

東北6県の外国人延べ宿泊者数、 政府目標1年前倒しで150万人泊突破！

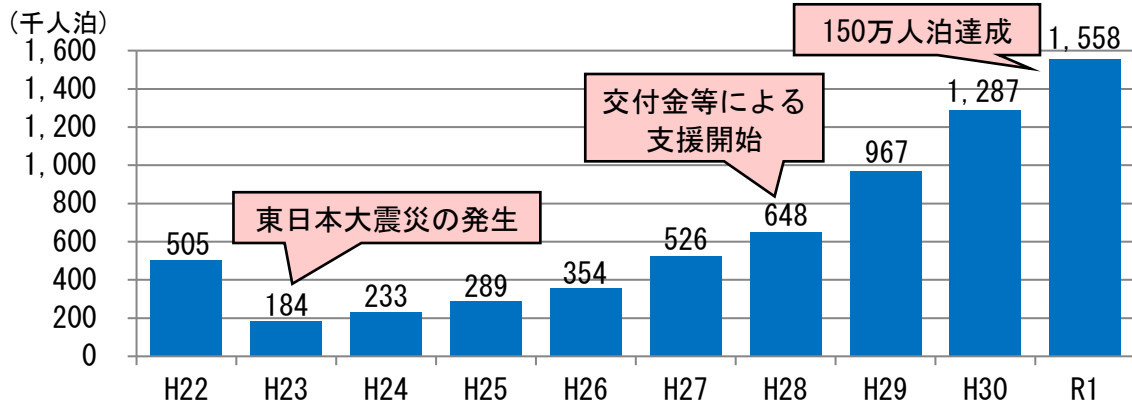
令和元年の東北6県の外国人延べ宿泊者数(従業者数10人以上の施設)については、**1,557,910人泊**(前年比+21.0%)となり、政府目標を1年前倒しで150万人泊を超えました(観光庁「宿泊旅行統計調査」(速報値)による)。

政府は、『明日の日本を支える観光ビジョン構想会議』(平成28年3月)において、令和2年に東北6県の外国人延べ宿泊者数を150万人泊(平成27年の3倍)とする目標を掲げ、東北地域における訪日外国人旅行者を呼び込むための様々な取組を支援して参りました。

これまで、東北地域が主体となって多言語ホームページの整備、滞在プログラムの開発等を行ってきました。加えて、官民が一体となったトップセールスや集中的な訪日プロモーションの実施によって、国際定期便の新規就航やチャーター便の増加、訪日外国人旅行者の誘客に繋がりました。その結果、令和元年の年間値(速報値)にて、東北6県の外国人延べ宿泊者数が1,557,910人泊となり、政府目標を1年前倒しで達成いたしました。

今後、東京2020オリンピック・パラリンピックの開催に伴い、東北への関心が高まるこの機会を捉え、地方公共団体や民間企業等から特別なプログラム等を取りまとめ、更なる東北の観光需要を喚起する「東北観光復興キャンペーン」を実施することにより、東北の観光復興に精力的に取り組んで参ります。

年別・東北6県の外国人延べ宿泊者数推移



資料：宿泊旅行統計調査(従業者数10人以上の施設)(平成22年～令和元年)

※令和元年の数値は速報値

【問い合わせ先】

観光庁 観光地域振興課 近藤、植村、萩澤
TEL：03-5253-8111(内線 27742、27744、27747)
03-5253-8327(直通) / FAX：03-5253-8122

東北観光復興キャンペーン

【背景】 150万人泊達成後の東北復興の総仕上げとして官民連携でのキャンペーンを令和2年度に実施。

【目的】 震災復興支援への「感謝」と、東北の今の「元気」を、世界へ発信。

知ってもらう

東北ハウスを活用した情報発信

- ・オリンピック期間中高輪ゲートウェイ駅前特設会場「Takanawa Gateway Fest」にて東北・新潟の情報発信拠点を設置

日本政府観光局(JNTO)による情報発信

- ・オリンピックを契機に東北地方に海外メディアを招請
- ・Webサイト等を活用した海外への情報発信

来ってもらう

交通事業者による訪日外国人向け期間限定割引の実施等

- ・JR東日本管内における期間限定割引切符発売
- ・全日空による東北発着便特別運賃の設定
- ・日本航空による無料航空券の提供や特別運賃の設定

JATA及びANTA会員企業等による訪東北旅行商品の販売

- ・各旅行会社によるオリパラ期間中における訪東北旅行商品の販売促進

楽しんでもらう

スペシャルプログラムの実施(特別な体験)

例1) 競技観戦者への訪東北商品の販売

- 大会期間中、競技会場であるさいたま市と福島県会津若松市間を結ぶバスを運行。
- バスチケットに加え、福島県会津地方の特別コンテンツを体験するSAMURAI ROUTE PASSを販売。



例2) 東北の夏祭りを満喫するスペシャルプログラムの実施

- 競技観戦者に東北の夏祭りを体験できる訪東北ショートトリップ商品の販売。
- 東京2020大会関連イベントへの東北絆まつりの出展。
- 一部の祭りにおいて特別観覧商品の設置。



東北絆まつり



青森ねぶたまつり



秋田竿燈まつり

オリパラ後

継続的な誘客施策により、東北の「秋と冬の魅力」を満喫